資料５

地域医療構想策定支援ツールの搭載データと推計方法

地域医療構想策定支援ツールの搭載データ

○ 将来の医療需要を推計するため、国が NDB 等のデータに基づき開発した「地域医療構想策定支援ツール」が都道府県に配布された。

○ 地域医療構想策定支援ツールは 2013 年度の下記データを用いて推計処理を実施しています。なお、特定の個人が第三者に識別されること防ぐため、医療需要及び必要病床数等の数が二次医療圏にあっては 10 未満、市区町村にあっては 100 未満となる数値は、非表示となる。

搭載データの種別			病名の有　無
医療需要	①	NDB（National Database）のレセプトデータ	あり
		上記のうち慢性期、回復期リハビリテーション病棟入院料	なし
	②	DPC データ	あり
	③	公費負担医療分医療需要（医療費の動向）	※
	④	医療扶助受給者数（被保護者調査）	※
	⑤	訪問診療受療者数（生活保護患者訪問診療レセプト数）	なし
	⑥	分娩数（人口動態調査）	あり
	⑦	介護老人保健施設の施設サービス受給者数（介護給付費実態調査）	なし
	⑧	労働災害入院患者数（労働災害入院レセプト数）	なし
	⑨	自賠責保険入院患者数（自賠責保険請求データ）	なし
人　　口	住民基本台帳年齢階級別人口		－
将来人口推計	国立社会保障・人口問題研究所　性・年齢階級別将来推計人口		－

※③④については、①②の二次医療圏、性・年齢階級、疾病による割合を用いて按分。

2013 年度の医療需要の推計方法

≪医療需要（人/日）の算出式≫

$$\text{医療需要（2013 年度）（人/日）} = \frac{\text{NDB のレセプトデータ（①）} + \text{DPC データ（②）} + \text{公費医療データ（③、④、⑤）} + \text{分娩のデータ（⑥）} + \text{介護老人保健施設サービス受給者データ（⑦）} + \text{労災保険医療データ（⑧）} + \text{自賠責保険医療データ（⑨）}}{365\text{ 日}}$$

※医療需要（人/日）は上記データを基に「病床の機能区分等」（４機能分類及び在宅医療 等）、「疾病区分」(約 90 分類)、「性」(2 分類)、「年齢」(17 分類)、「患者住所地二次医 療圏」(344 分類)、「医療機関所在地二次医療圏」(344 分類)別に算出。

≪必要病床数の算出式≫

$$\text{必要病床数（2013 年度）（床）} = \frac{\text{医療需要（2013 年度）}}{\text{病床稼働率}}$$

※病床稼働率は全国一律で下記の値を用いる。
高度急性期 0.75　　急性期 0.78　　回復期 0.9　　慢性期 0.92

≪慢性期における医療需要の算出式≫

$$\text{慢性期における医療需要（2013 年度）（人/日）} = \text{補正前の慢性期の医療需要（二次医療圏）} + \text{障害者・特殊疾患の医療需要}$$

2025 年の医療需要の推計方法

≪入院受療率の算出式≫

$$\text{入院受療率（2013 年度）} = \frac{\text{医療需要（2013 年度）}}{\text{性・年齢階級別人口（2013 年度）}}$$

※構想区域（二次医療圏）ごとに入院受療率を算出。

≪必要病床数の算出式≫

$$\text{必要病床数（2025 年度）（床）} = \frac{\text{入院受療率（2013 年度）} \times \text{性・年齢階級別人口（2025 年度）}}{\text{病床稼働率}}$$

※病床稼働率は全国一律で下記の値を用いる。
高度急性期 0.75　　急性期 0.78　　回復期 0.9　　慢性期 0.92

2025 年の慢性期の医療需要の算出方法

○ 療養病床の入院受療率は都道府県差があることや地域の在宅医療･介護施設等の整備状況に差があることから、各地域の【補正率】を算出して入院受療率の地域差の縮小を図る。
補正率の算出方法については、全ての構想区域（二次医療圏）が全国最小値（都道府県単位）まで入院受療率を低下する**パターン A** と、全国最大値（都道府県単位）の入院受療率が全国中央値（都道府県単位）まで低下する割合を用いる**パターン B** の 2 種類の方法を用いる。

≪補正率の算出式≫

※ Max ＝ 都道府県別 性・年齢階級調整入院受療率のうち最大値
Mid ＝ 都道府県別 性・年齢階級調整入院受療率のうち中央値
Min ＝ 都道府県別 性・年齢階級調整入院受療率のうち最小値

$$\text{補正率（パターン A）} = \frac{\text{Min}}{\text{構想区域（二次医療圏）の性・年齢階級調整入院受療率}}$$

$$\text{補正率（パターン B）} = \frac{\dfrac{(\text{Mid} - \text{Min})}{(\text{Max} - \text{Min})} \times (\text{当該構想区域（二次医療圏）の性・年齢階級調整入院受療率} - \text{Min}) + \text{Min}}{\text{構想区域（二次医療圏）の性・年齢階級調整入院受療率}}$$

≪慢性期における医療需要≫

$$\text{補正後の慢性期における医療需要（2025 年度）（人/日）} = \text{補正前の慢性期の医療需要（二次医療圏）} \times \text{補正率（パターン A、パターン B）} + \text{障害者・特殊疾患の医療需要}$$